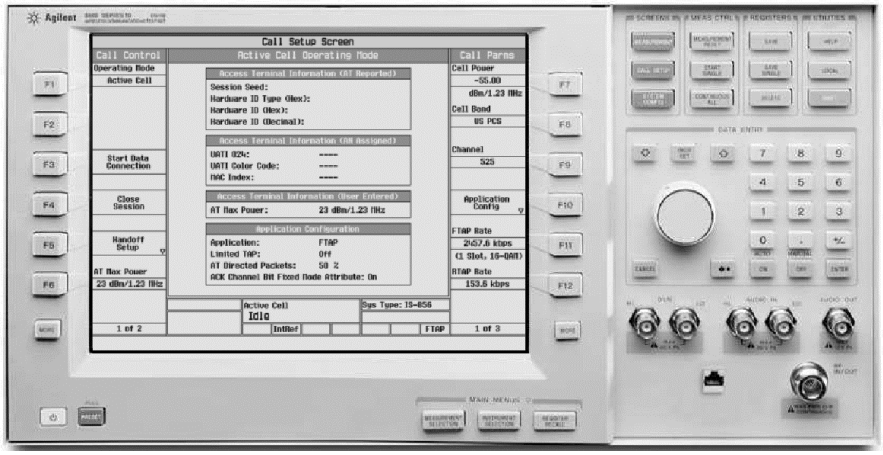
Agilent
E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーション

8960（E5515C）無線通信テスト・セット用

Technical Overview

高データ・レートのテストにより、1xEV-DO 無線アクセス・ターミナルの信頼性が向上

Agilent E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションと 8960（E5515C）無線通信テスト･セットを使用すれば､1xEV-DO リリース A およびリリース B に対するさまざまなパラメトリック／ファンクション･テストがワンボックスで行えます。E6706B/U は、移動機開発ライフサイクルの多くの段階で使用でき､RF テストとファンクション・テストに適した機能を備えています。このテスト・ソリューションを使用すれば､最先端の 1xEV-DO 無線アクセス・ターミナル（AT）の設計、統合、検証を効率的に行えます。



主な特長

- 1xEV-DO リリース 0 およびリリース A デフォルト・パケット・アプリケーションのサポートにより、IP ベースのテスト／検証が可能
- 1xEV-DO リリース 0 FTAP/RTAP、リリース A FETAP/RETAP、リリース B FMCTAP/RMCTAP コール・プロセッシングのサポートにより、物理層の正確な性能評価が可能
- 内蔵のワイヤレス・プロトコル・アドバイザ PC ソフトウェアを使ったプロトコル・ロギングにより、1xEV-DO プロトコル･スタック内の複数のレイヤで詳細なログを取得でき、プロトコルの問題をすばやくデバッグ可能
- Agilent の外部 Baseband Studio ソリューションを使用した高精度の デジタル I/Q ベースバンド･フェージングにより、デジタルの再現性と確度を備えた 1xEV-DO 用フェージング･プロファイルを提供
- E6706B/U により、テスト・セット内の基本モバイル IP サポートが有効化。Software Concepts 社の MOB-IP-SIM と E6706B/U ラボ・アプリケーションを併用することにより、モバイル IP プロトコル･テストをフル・サポート
- IS-856 テスト・モードにより、コール・プロセッシングなしでレシーバ／トランスミッタ・テストが可能

新機能

- **リリース B 機能**により､1xEV-DO リリース B で使用されるマルチキャリア動作と新しいサブタイプ 3 物理層をサポートするアクセス・ターミナルのテストが可能。
- **リリース A デフォルト・パケット・アプリケーション**のサポートにより、フォワード・リンクでは最大 3.1 Mbps、リバース・リンクでは最大 1.8 Mbps の速度でデータ・スループット・テストが可能。
- **高速デバイス・チューニング測定**により、1 回の測定でアクセス・ターミナルの Tx セクションと Rx セクションを同時に校正。
- **Band Class 7、Band Class 15 のサポート**により、これらの新しい周波数バンドをサポートするアクセス・ターミナルのテストが可能。

Agilent Technologies

規格化された無線プロトコルの接続

E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションには、規格化された無線プロトコルをサポートするコール・プロセッシングが含まれています。1xEV-DO ラボ・アプリケーションは、リリース 0 とリリース A の実際のネットワークで使用されるデフォルト・パケット・アプリケーション、および 1xEV-DO リリース 0、リリース A、リリース B エア・インタフェースのパラメトリック・テストに使用されるテスト・アプリケーション（FTAP/RTAP、FETAP/RETAP、FMCTAP、RMCTAP）を提供します。

デフォルト・パケット・アプリケーションは、TCP/IP 層から（リア・パネルの LAN コネクタ経由で）アクセス・ターミナルにデータを送信することにより、実際の 1xEV-DO ネットワークをエミュレートします。E5515C メインフレームでは、データ・スループット・レートは、AT に送信する際には 3.1 Mbps、AT から受信する際には 1.8 Mbps のフル・データ・レートが可能です。E6706B/U は、単純な IP 接続と基本モバイル IP 接続をサポートしています。Software Concepts 社の MOB-IP-SIM と組み合わせると、フルのモバイル IP サポートが可能です。

1xEV-DO テスト・アプリケーション・プロトコルを使用すると、フォワード／リバース動作をすばやく効率的に制御できるため、正確なパラメトリック・テストが行えます。FTAP/FETAP/FMCTAP には、最大 3.1 Mbps の RF 接続でのパケット・エラー・レート（PER）測定機能があります。RTAP/RETAP/RMCTAP を使用すれば、AT のリバース・リンクを制御して、コード・ドメイン・パワー、波形品質などのパラメータを使用可能なすべてのリバース・データ・レートでテストできます。

リリース A のテスト・サポート

E6706B/U は、拡張テスト・アプリケーション・プロトコルを使用した、1xEV-DO リリース A 物理層サブタイプ 2 のエア・インタフェースのテストをサポートしています。この新しいエア・インタフェースによるコール・プロセッシングは、既存のリリース 0 機能を使用する場合と同様に、ワンボタン・コマンドで簡単に行えます。E6706B/U により、すべての新しいフォワード・トラフィック・チャネル設定に対するサポートが追加され、FETAP プロトコル（Forward Enhanced Test Application プロトコル）を使用した実環境条件下での正確な PER テストが行えます。新しい RETAP プロトコル（Reverse Enhanced Test Application プロトコル）を使用すれば、サブタイプ 2 のリバース・チャネルのすべての新しいパケット・サイズと変調方式で、パワー、波形品質、コード・ドメイン・パワー、伝導性スプリアス・エミッションなどのパラメータを簡単にテストできます。

リリース B のテスト・サポート

E6706B/U は、マルチキャリア・テスト・アプリケーション・プロトコルを使用した、1xEV-DO リリース B 物理層サブタイプ 3 のエア・インタフェースのテストをサポートしています。リリース B を使用すれば、ユーザ・トラフィックを複数の搬送波で搬送できるため、データ・レートが大幅に向上します。リリース B マルチキャリア・テストを実行する際に、最大 3 台の E5515C 測定器と E6706 B/U アプリケーション（1 搬送波あたり 1 つ）を同期できます。8960 テスト・ソリューションは、新しいマルチキャリア・テスト・アプリケーション・プロトコルを使用して、波形品質と周波数確度、最大 RF 出力パワー、伝導性スプリアス・エミッションなどの Tx 測定をサポートしています。サポートされる Rx 測定には、AWGN のフォワード・トラフィック・チャネルの復調、レシーバ感度、ダイナミック・レンジがあります。

ハイブリッド・モード

E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションは、E6702B/T cdma2000 ラボ・アプリケーションを実行する別の E5515C と組み合わせると、cdma2000®/1xEV-DO ハイブリッド・モード動作をサポーできます。内蔵マルチユニット同期機能により、2 つのユニットが CDMA のシステム時間で同期され、ハイブリッド・モードのコール・プロセッシングとファンクション・テストが行えます。

モバイル IP

E6706B/U アプリケーションに基本モバイル IP サポートが追加され、AT が、モバイル IP ネゴシエーションを渡せるようになりました。モバイル IP とデータ・セッション・ハンドオフを完全にテストするには、Software Concepts Inc の MOB-IP-SIM を追加する必要があります。E6706B/U、E5515C、MOB-IP-SIM により、AT のモバイル IP プロトコルの動作を検証するための強力なソリューションが得られます。

フェージング・テスト

オプション 004 では、リア・パネルにデジタル・バスが追加され、Agilent の Baseband Studio フェージング・ソリューションでフェージングが行えるようになります。E6706B/U を N5101A Baseband Studio PCI カードおよび N5115A Baseband Studio フェージング・ソフトウェアと組み合わせれば、優れた確度と再現性を備えたレシーバ・フェージング・テストが非常に低価格で行えます。E5515C のベースバンド I/Q データが、デジタル・バス経由で外部 PC の N5101A フェージング・カードに送られます。N5115A フェージング・ソフトウェアは、フェージング・プロファイルをもとに PCI カードを設定します。デジタル・フェージング後、AWGN を波形にデジタル的に追加できます。次に結果の波形をデジタル・バス経由でテスト・セットに戻して変調します。このソリューションを使用すれば、ほぼすべての関連校正が不要になり、一貫した再現性が得られます。

プロトコル・ロギング

E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションに付属のワイヤレス・プロトコル・アドバイザ（PC ソフトウェア）により、テスト・セットと AT 間で送信されるプロトコル・メッセージの記録と解析が行えます。ワイヤレス・プロトコル・アナライザには、特定のイベントやメッセージを捕捉する機能だけでなく、必要な情報だけを捕捉／解析するために、カスタマイズ・フィルタを作成する機能もあります。メッセージは、フォワード／リバース SLP-D、フォワード／リバース TAP、フォワード／リバース RLP、フォワード／リバース PPP、フォワード／リバース IP 層などのプロトコル層から調査できます。捕捉したデータ、およびカスタマイズしたトリガとフィルタを保存して、後から使用できます。この強力なプロトコル・ロギング機能を使用して、1xEV-DO アクセス・ターミナルのプロトコル・スタックの問題をすばやく特定できます。

1xEV-DO テスト・モードのサポート

アクティブ・コール・プロセッシングなしのレシーバ・テストが、E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションの IS-856 テスト・モードでサポートされています。このテスト・モードでは、E6706B/U が正確な 1xEV-DO リリース 0/A/B のフォワード・リンク信号を提供し、この信号を使ってアクセス・ターミナルが時間調整を行います。この時点で、テスト・セットにより連続送信されているフォワード・トラフィック・チャネルの復調を AT に指示できます。次に AT のテスト・モード制御ソフトウェアを使用して、AT のパケット・エラー・レートを AT から読み取ることができます。さらに、テスト・モードでは、チャネル・パワー、Tx スプリアス・エミッション、開ループ・パワーの時間応答などの AT トランスミッタ測定も行えます。

既存の CDMA 対応 8960 テスト・セットのアップグレード

E6702B などの、CDMA アプリケーションをサポートするユニットを、1xEV-DO テスト機能をサポートするように簡単にアップグレードできます。既存の E5515C ユニット（プレフィックスが GB45070001 より前）のパケット・データ・スループットを最大限に高めるために、ハードウェア・アップグレード・オプション を後付けして、テスト・セットの処理パワーを拡張できます。

E6706B/U
機能の概要
（続き）

1xEV-DO コール・プロセッシング

- UATI 割り当て
- セッション・クローズ
- 接続
- FTAP/FETAP/FMCTAP サポート
- チャネル・ハンドオフ
- リリース 0 デフォルト・パケット・アプリケーション
- セッション・オープン
- セッション・ネゴシエーション
- 切断
- RTAP/RETAP/RMCTAP サポート
- バンド・ハンドオフ

Tx 測定

- 平均パワー
- コード・ドメイン・パワー
- 変調品質
- スペクトラム・モニタ
- Tx ダイナミック・パワー測定
- 高速デバイス・チューニング測定
- チャネル・パワー
- アクセス・プローブ・パワー
- 開ループ・パワーの時間応答
- Tx スプリアス・エミッション
- グラフィカル・アクセス・プローブ・パワー

Rx 測定

- FTAP ループバック
- 感度
- AWGN による PER
- データ・スループット
- FETAP ループバック
- ダイナミック・レンジ
- フェージング（オプションのフェーダ）による PER
- データ・レート・ヒストグラム

技術仕様

これらの仕様は、最新の出荷バージョンの E6706B ラボ・アプリケーションを使用し、オプション 003 をインストールした E5515C メインフレームに適用されます。これらのアプリケーションには、E1966A 1xEV-DO テスト・アプリケーションのデータ・シートに記載されている機能も含まれています。詳細については、**www.agilent.co.jp/find/E1966A** をご覧ください。

仕様は、テスト・セットの保証されている性能で、特に記載がない限り、全動作レンジと環境レンジで有効です。すべての仕様は、30 分間の連続動作によるウォームアップ後に、有効です。

補足特性は、測定器を使用する際に役立つ追加情報として提供されている、保証されていない代表性能パラメータです。これらの特性は、代表値または補足値として記載されています。工場出荷時のすべてのユニットは、25 ℃の周囲温度で、これらの代表値に適合します（測定の不確かさは含まれていません）。

これらの仕様は、25 ℃±5 ℃の周囲温度範囲で、最新の出荷バージョンの E6706U ラボ・アプリケーションが実行されているオプション 003 搭載の E5515C メインフレームにも適用されます。E6706U の動作条件は 0～35 ℃です。

1xEV-DO コール・プロセッシング機能

固有フォーマット	1xEV-DO
コール・プロセッシングのタイミング許容範囲	適切なリバース・チャネル収集を行うには、移動機送信は、テスト・セットの送信されたパイロット・チャネルのクロック・タイミングの±6 μs（代表値）以内でなければなりません
オーバヘッド・メッセージ	リアルタイム・ロング・コードとシステム時間更新を持つ同期メッセージ、クイック構成メッセージ、セクタ・パラメータ・メッセージ、アクセス・パラメータ・メッセージ
プロトコル・スタック	テスト・アプリケーション・プロトコル（それぞれ TAP/FTAP/RTAP、ETAP/FETAP/RETAP、MCTAP/FMCTAP/RMCTAP）を使用する 1xEV-DO リリース 0、リリース A、リリース B、およびリリース 0 とリリース A のデフォルト・パケット・アプリケーション・プロトコル、リリース A のマルチフロー・パケット・アプリケーション
基地局パラメータ	ACK チャネル利得、DRC チャネル利得、データ・オフセット nom、データ・オフセット 9k6、データ・オフセット 19k2、データ・オフセット 38k4、データ・オフセット 76k8、データ・オフセット 153k6
エンハンスド・アイドル・ステート・プロトコル	0.1066 s～40.96 s のスロット・サイクルをサポート
R-DRC 固定モード属性	オンまたはオフ。デフォルトはオンです。オン・ステートの場合は、テスト・セットは、ユーザ設定のフォワード・トラフィック・レートを送信します。オフ・ステートの場合は、テスト・セットは、AT により送信された受信 DRC 値に従ってフォワード設定を送信します

1xEV-DO デフォルト・パケット・アプリケーション

デフォルトのパケット・アプリケーション プロトコル・スタック	1xEV-DO リリース 0 およびリリース A
デフォルトのパケット・アプリケーション動作	1xEV-DO AT へのトランスペアレントなインタフェースを提供することにより、テスト・セットが完全なデータ・ネットワークをエミュレートできるようにします。単純な IP 接続とモバイル IP 接続をサポートします。テスト・セットをリア・パネルの LAN コネクタで外部サーバに接続する必要があります。
R-DRC チャネル・モード	テスト・セットが、R-DRC をデコードし、要求されたレートに合わせてフォワード・トラフィック・チャネルを変更します。
DRC 長	2 スロット、4 スロット、8 スロットにユーザ設定可能
アーリー・ターミネーション	フォワード・リンクでサポート
AT 方向パケット	テスト・セットは、LAN で受信したパケットがなく、被試験 AT にパケットを送信できない場合は、フォワード・トラフィック・チャネルを自動的に別の未使用の MAC アドレスに切り替えます。
データ・レート	38.4 kbps～3.1 Mbps のすべてのフォワード・レートをサポートします。接続された AT は、使用する実際のデータ・レートを動的に選択します。9.6 kbps～1.8 Mbps のすべてのリバース・レートをサポートします。接続された AT は、使用する実際のデータ・レートを動的に選択します。
リバース・リンクのデータ・オーバ・シグナリング	AT からの制御チャネル上のシグナリング・メッセージの音声データをサポートします。
休止モード	サポート
RLP 制御カウンタ	フォワード／リバースのリセット・メッセージ、NAK メッセージ、否定応答オクテット用のカウンタ。
RLP データ・カウンタ	フォワード／リバースの新しいオクテット、再送信オクテット、パケット用のカウンタ。
IP データ・カウンタ	フォワード／リバースのバイトとパケット用のカウンタ。

1xEV-DO デフォルト・パケット・アプリケーション（続き）

フォワード・トラフィック・データ・カウンタ	AT のコマンドに従って、以下の設定で送信されるパケット数用のカウンタ。 38.4 kbps　16 スロット、QPSK　(DRC = 0x1) 76.8 kbps　8 スロット、QPSK　(DRC = 0x2) 153.6 kbps　4 スロット、QPSK　(DRC = 0x3) 307.2 kbps　2 スロット、QPSK　(DRC = 0x4) 307.2 kbps　4 スロット、QPSK　(DRC = 0x5) 614.4 kbps　1 スロット、QPSK　(DRC = 0x6) 614.4 kbps　2 スロット、QPSK　(DRC = 0x7) 921.6 kbps　2 スロット、8PSK　(DRC = 0x8) 1228.8 kbps　1 スロット、QPSK　(DRC = 0x9) 1228.8 kbps　2 スロット、16QAM　(DRC = 0xA) 1843.2 kbps　1 スロット、8PSK　(DRC = 0xB) 2457.6 kbps　1 スロット、16QAM　(DRC = 0xC) AT に送信されるパケットの総数。 AT に送信されない総数。
リバース・トラフィック・データ・カウンタ	以下のレートで送信されるパケット数用のカウンタ。 9.6 kbps 19.2 kbps 38.4 kbps 78.6 kbps 153.6 kbps
IP スループット・モニタ	IP 層と RLP 層でのフォワード／リバース・パケットのデータ・スループットのグラフを表示します。
IP スループット数値結果	現在、平均、ピークのデータ・レート（bps 単位）の数値結果、およびフォワード／リバース IP パケットとフォワード／リバース OTA（over-the-air-RLP）パケットの転送された総バイト数を表示します。
IP スループット表示の軸制御 **時間スパン** **スタート・データ・レート** **ストップ・データ・レート**	 0～600 s 0～4999 kbps 0～5000 kbps
IP スループット・トレース・コントロール	IP Tx トレース、IP Rx トレース、OTA（RLP）Tx トレース、OTA（RLP）Rx トレースのオン／オフ機能とマーカ機能
IP スループット・グラフ・コントロール	表示のクリアと表示の固定
ping 機能	デフォルトのパケット機能に必要なネットワーク接続のテストが可能です。送信パケット数、受信パケット数、%損失、ラウンドトリップ時間の最小値／平均値／最大値をレポートします。
モバイル IP サポート	E6706B/U は、モバイル IP の 2 つのソリューションをサポートしています。1 つは、外部デバイスが必要のない基本機能です。8960 は、リバース・モバイル IP 関連のメッセージを処理し、AT がモバイル IP 登録を渡せるように、対応するフォワード・モバイル IP メッセージを生成します。2 番目のソリューションは、Software Concepts Inc のモバイル IP シミュレータ・モデル（MIP-5800 MOB-IP-SIM または MIP-5850 MOB-IP-SIM）のサポートです。デフォルトのパケット動作の単純な内部 IP、または外部モバイル IP に対するユーザ制御。テスト・セットの LAN ポート経由でモバイル IP シミュレータに接続します。外部モバイル IP モードの場合は、テスト・セットが PPP over Ethernet フォーマットで LAN ポート経由でデータを送信します
モバイル IP 機能	
内部モバイル IP ステート	単純な IP とモバイル IP のどちらを使用するかを設定します。オンまたはオフに設定可能です。この機能は、外部 PDSN ステートをオフに設定すると有効になります。
ホーム・エージェント 共有秘密キー（16 進数）	モバイル IP 認証手順で使用する秘密キーを設定します。AT によってプログラムされた MN-HA（モバイル・ノード-ホーム・エージェント）秘密キーと一致する必要があります。
外部 PDSN ステート	オンまたはオフ。オンのとき、LAN コネクタ経由で外部 MIP-5800 または MIP-5850 モバイル IP シミュレータに PPP データを出力します。
外部 PDSN IP アドレス	IPv4 標準アドレスを許容します。
外部 PDSN TCP ポート	0～65535

ハイブリッド・モード機能

（E6706B/U 1xEV-DO ラボ・アプリケーションを実行するユニットと E6702B cdma2000 ラボ・アプリケーションを実行するユニットの、2 つのユニットが必要です。ユニットは、マルチユニット同期機能を使って同期する必要があります。）

ハイブリッド・モード機能	E6702B cdma2000 ラボ・アプリケーションを実行している E5515C と併用する場合は、cdma2000/1xEV-DO ハイブリッド・モード動作をサポートします。マルチユニット同期機能を使用して 2 つのユニットを同期する必要があります。
基本ハイブリッド・モードのテスト機能	• ハイブリッド・モード・システム収集 • 1xEV-DO パワー・セーブ・モード • 推奨制御チャネル・サイクル・ネゴシエーション • CDMA と 1xEV-DO でのデュアルアイドル動作 • デュアルアイドル・ステートでの CDMA 音声コール発呼 • 休止 1xEV-DO ステートでの CDMA 音声コール発呼 • 1xEV-DO 接続ステートでの CDMA 音声コール発呼 • デュアルアイドル・ステートでの CDMA 音声コール終了 • CDMA アイドル/1xEV-DO 休止ステートでの CDMA 音声コール終了 • 1xEV-DO 接続ステートでの CDMA 音声コール終了 • デュアルアイドル・ステートでの SMS 発呼 • CDMA アイドル/1xEV-DO 休止ステートでの SMS 発呼 • 1xEV-DO 接続ステートでの SMS 発呼 • デュアルアイドル・ステートでの SMS 終了 • CDMA アイドル/1xEV-DO 休止ステートでの SMS 終了 • 1xEV-DO 接続ステートでの SMS 終了 • デュアルアイドル・ステートでの 1xEV-DO パケット・データ・コール発呼 • 1xEV-DO 休止ステートでの 1xEV-DO パケット・データ・コール再発呼 • 1xEV-DO 休止ステートでの 1xEV-DO パケット・データ・コール終了 • 1xEV-DO サービスが使用できないときの CDMA パケット・データ・コール
アドバンスド・ハイブリッド・モードのテスト機能（Software Concepts 社の MOB-IP-SIM が必要）	• 固定ホーム IP 使用時の MIP コール • 動的ホーム IP 使用時の MIP コール • 1xEV-DO でパケット・データ・コールの試行中に、MIP コールに失敗した場合の MIP-SIP フォールバック • CDMA でパケット・データ・コールの試行中に、MIP コールに失敗した場合の MIP-SIP フォールバック • アクティブ 1xEV-DO - CDMA データ・セッション・ハンドオフ • 休止 1xEV-DO - CDMA データ・セッション・ハンドオフ • 休止 CDMA - 1xEV-DO データ・セッション・ハンドオフ • 1xEV-DO - CDMA - 1xEV-DO データ・セッション・ハンドバック

電子計測UPDATE

www.agilent.co.jp/find/emZailupdates-Japan
Agilent からの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。

Agilent Direct

www.agilent.co.jp/find/agilentdirect
測定器ソリューションを迅速に選択して、使用できます。

Agilent Open

www.agilent.co.jp/find/open
Agilent は、テスト・システムの接続とプログラミングのプロセスを簡素化することにより、電子製品の設計、検証、製造に携わるエンジニアを支援します。Agilent の広範囲のシステム対応測定器、オープン・インダストリ・ソフトウェア、PC 標準 I/O、ワールドワイドのサポートは、テスト・システムの開発を加速します。

Remove all doubt

アジレント・テクノロジーでは、柔軟性の高い高品質な校正サービスと、お客様のニーズに応じた修理サービスを提供することで、お使いの測定機器を最高標準に保つお手伝いをしています。お預かりした機器をお約束どおりのパフォーマンスにすることはもちろん、そのサービスをお約束した期日までに確実にお届けします。熟練した技術者、最新の校正試験プログラム、自動化された故障診断、純正部品によるサポートなど、アジレント・テクノロジーの校正・修理サービスは、いつも安心で信頼できる測定結果をお客様に提供します。

また、お客様それぞれの技術的なご要望やビジネスのご要望に応じて、

- アプリケーション・サポート
- システム・インテグレーション
- 導入時のスタート・アップ・サービス
- 教育サービス

など、専門的なテストおよび測定サービスも提供しております。

世界各地の経験豊富なアジレント・テクノロジーのエンジニアが、お客様の生産性の向上、設備投資の回収率の最大化、測定器のメインテナンスをサポートいたします。詳しくは：

www.agilent.co.jp/find/removealldoubt

アジレント・テクノロジー株式会社
本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口
受付時間 9:00-18:00（土・日・祭日を除く）

TEL ■■ 0120-421-345
(042-656-7832)
FAX■■ 0120-421-678
(042-656-7840)
Email contact_japan@agilent.com
電子計測ホームページ
www.agilent.co.jp

詳細については、以下をご覧ください。
www.agilent.co.jp/find/8960
www.agilent.co.jp/find/E6706B

cdma2000 は、Telecommunications Industry Association の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

● 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

© Agilent Technologies, Inc.2009

Published in Japan, April 21, 2009
5989-3335JAJP
0000-00DEP

Agilent Technologies